

メルボルン大学主催国際シンポジウム“A Smart Sustainable Future for All: Enhancing Resilience in a Changing Landscape”に参加・発表しました（2018/9/25-26）

テーマ：APRU マルチハザードプログラム、大学連携

場所：メルボルン大学

2018年9月25 - 26日に、メルボルン大学にて、国際シンポジウム“A Smart Sustainable Future for All: Enhancing Resilience in a Changing Landscape”が開催されました。当研究所の泉貴子准教授（地域・都市再生研究部門）がこのシンポジウムに参加し、“*Role and Initiatives of Civil Societies in Climate Change and DRR in Asia*”と題した発表を行うと共に、全体会議のパネルディスカッションにパネリストとして参加しました。このシンポジウムでは、メルボルン大学が世界銀行と行っている持続可能な都市に関する研究についての発表や、災害と都市・インフラ・スマートシティ・SDGsなどに関するパラレルセッションが2日間にわたり実施されました。

メルボルン大学は、当研究所が事務局をホストするAPRU(環太平洋大学協会)マルチハザードプログラムの重要なメンバーであり、今回のシンポジウムへもAPRUマルチハザードプログラムからの参加と協力が求められました。メルボルン大学とは、今後もAPRUマルチハザードプログラムを通して、シンポジウム・サマースクール・世界防災フォーラムなどで連携協力していく予定です。



パネルディスカッション



会場の様子

文責：泉貴子（地域・都市再生研究部門）